

無印良品  
ステンレスユニットシェルフ・ワゴンセット

組立・取扱説明書 保存用

- お買い上げありがとうございます。
- 組立て、ご使用前に必ずお読みください。
- この説明書は必ず保管してください。

**組み立ての前に必ずお読みください**

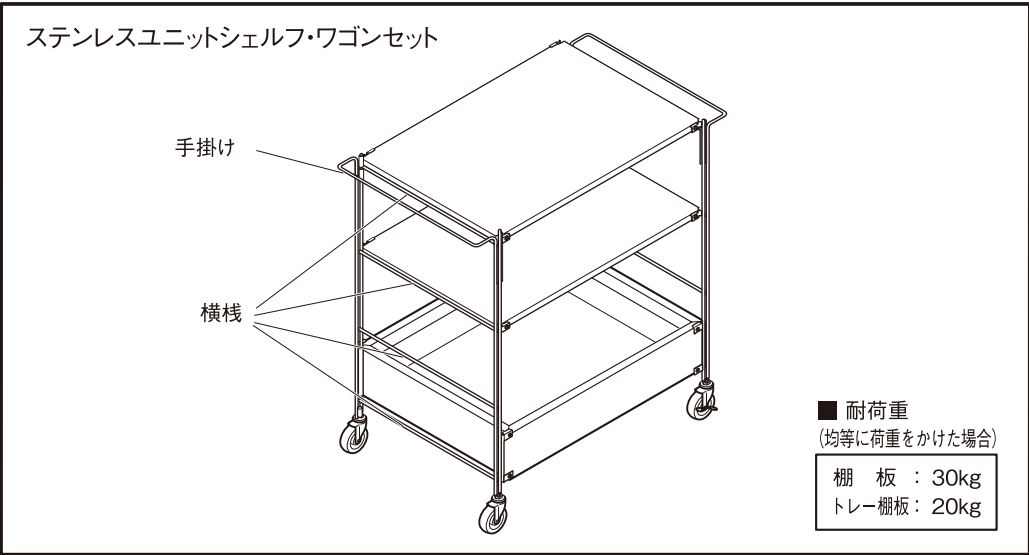
❶ 組み立てに十分な場所を確保し、敷物等を敷いて床や既存の家具に傷が付かない様、注意して行ってください。

❷ 組み立ては必ず2人以上で行ってください。

❸ フィッティングパーツ取付けに「電動工具」は使用しないでください。

❹ ボルトやナットなどにゆるみがないか定期的に点検し、安全をご確認の上、ご使用ください。

完成図



パーツリスト

01 棚板 ※ (A) ボルト (B) フックが取り付けられています	02 棚板 ※ (A) ボルトが取り付けられています	03 トレー棚板 ※ (A) ボルト (E) トレー棚板用フックが取り付けられています	04 ワゴン用帆立 帆立柱 横棧
X1	X1	X1	X2

フィッティングパーツリスト

(A) ボルト ※ 01 棚板、03 トレー棚板に取り付けられています	(B) フック ※ 01 棚板に取り付けられています	(C) フック・長 (左) ※ 左前と右後に使用します	(D) フック・長 (右) ※ 右前と左後に使用します	(E) トレー棚板用フック ※ 03 トレー棚板に取り付けられています
X16	X4	X2	X2	X4
(F) キャスター ストッパーなし	(G) キャスター ストッパー付き	(H) スパナ	(I) 六角レンチ	
X2	X2	X1	X1	

1 はじめに、本体を組み立てる場所に敷物等を敷きます。

01 棚板の四隅に固定されている (B) フックの (A) ボルトをそれぞれ、  
① 六角レンチでフックが自由に動く状態までゆるめてください。

フックをゆるめる

ポイント

真上から見た図

※棚板の全てのボルトが上図のような状態になるまでゆるめ、フックがハの字になるようにしてください。

① 六角レンチ

2 01 棚板を斜めにし、前側の (B) フック2箇所をまず 04 ワゴン用帆立の帆立柱に引っ掛け、(ポイント①)、後側の (B) フックを指で手前に押さえながら帆立柱に引っ掛けて(ポイント②)落とし込みます。(ポイント③)

※本体に方向性はないですが、説明上、<前側><後側>と呼んでいます。

ポイント②  
押さえ、引っ掛ける

注意  
指を挟まないようにご注意ください。

ポイント①  
引っ掛ける

3段目に取り付ける

＜後側＞

＜前側＞

手で支える

ポイント③  
落とし込む

横棧

棚板のはめ込み

棚板がはまりにくい状態の時は、棚板上部を軽く手でたたいて棚板をはめ込んでください。特に一番上の棚板がはめにくくなっていることがありますので、その場合は手順1の図のようになるまでフックをゆるめ、上図のポイントにならって、棚板をはめ込んでください。

3 最上段(4段目)の棚板を取り付けます。

02 棚板の四隅に固定されているボルトを ① 六角レンチで取りはずし、片側(後側)にだけ (C) ⑩ フック・長 (左/右)を取り付けます。

※ (C) ⑩ フック・長には左右があります。

※ゆるめに取り付けておいてください。

ポイント

ゆるめに締める

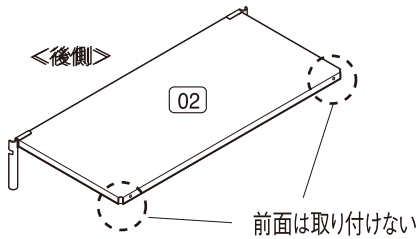
※ボルトは棚板に付属しているものを使用します

※本体に方向性はないですが、説明上、<前側><後側>と呼びます。

＜後側＞

＜前側＞

■後側のフック・長(左/右)のみ  
取り付けした状態



4 片面(後側)の (C) ⑩ フック・長 (左/右)を、04 ワゴン用帆立の帆立柱と横棧に引っ掛け(ポイント①)、帆立柱の横棧まで落とし、しっかりと引っ掛けます。(ポイント②)

※その際、(C) ⑩ フック・長 (左/右)の凹み部分がしっかり横棧に掛かっているのを、確認してください。

ポイント①  
引っ掛ける

注意  
指を挟まないようにご注意ください。

最上段(4段目)に取り付ける

＜後側＞

＜前側＞

手で支える

ポイント②  
横棧に引っ掛けフックをとめる

横棧

お問い合わせ先

製品のお問い合わせは、お買い上げの販売店もしくは下記お客様相談室までご連絡ください。

株式会社 良品計画

お客様相談室でんわ  
0120-14-6404

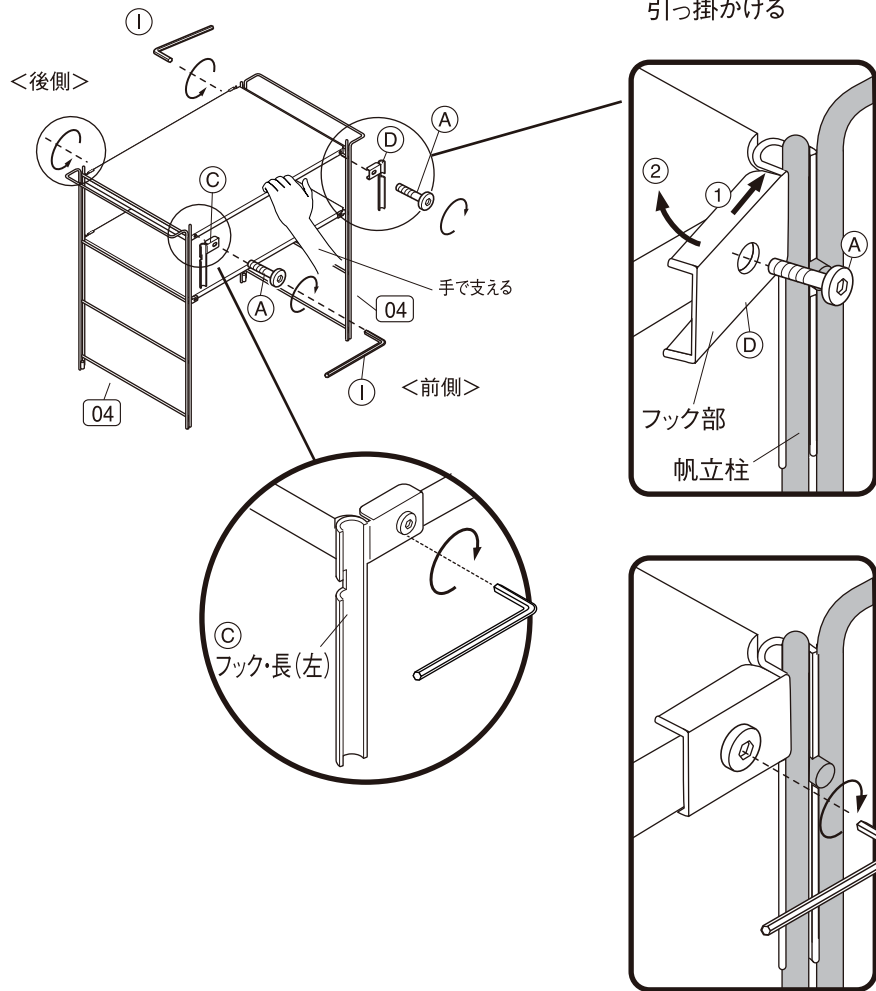
150227  
333666171-053-001-JP 2023/12/28

5

前側が倒れないように支えます。  
前面の帆立柱と棚板の間のすき間から ㉔ ㉕ フック・長(左/右)を入れて取り付け、フック部を ㉖ ボルトでゆるめに取り付けておきます。(ポイント㉔)  
※後側同様に㉔ ㉕フック・長(左/右)の凹み部分がしっかり横棧に掛かっているのを、確認してください。

ポイント㉔

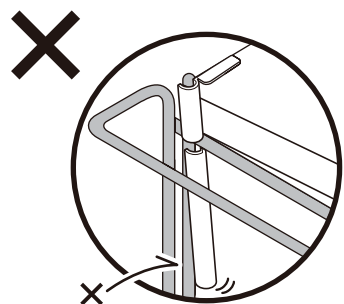
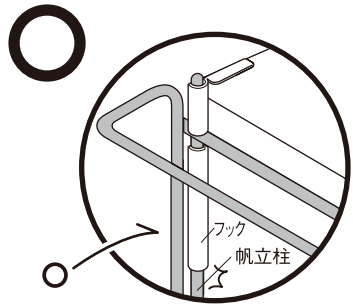
帆立柱と棚の間から入れて、先に引っ掛ける



フックが帆立柱にしっかり引っ掛かっていることをご確認ください。

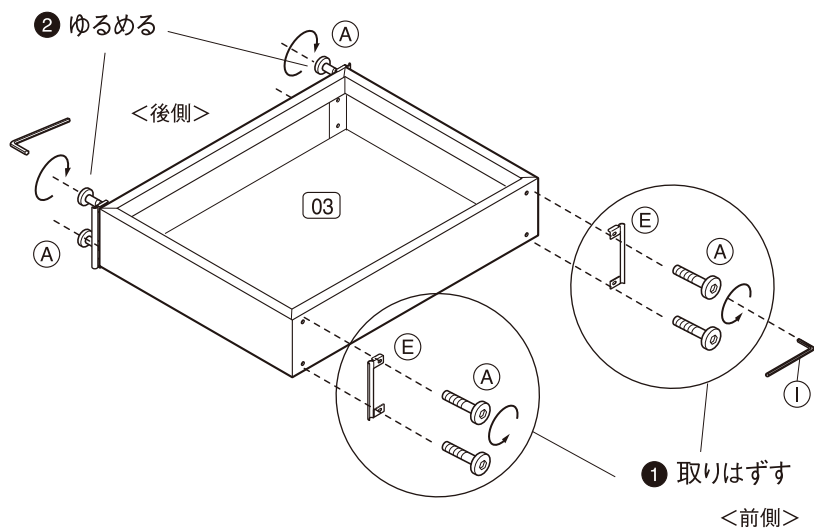
帆立柱に引っ掛かっている

帆立柱に引っ掛かっていない



6

- ㉑ ㉒ トレー棚板に付いている前側の ㉓ トレー棚板用フックと ㉔ ボルトを ㉕ 六角レンチで取りはずします。
- 後側の ㉓ フックの ㉔ ボルトをゆるめておきます。

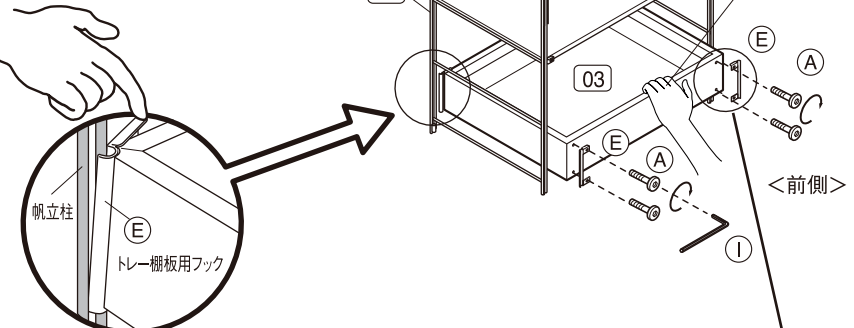


7

前側が倒れないように支えます。㉒ トレー棚板をやや斜めにしながら、帆立と帆立の間に入れます。手順 ㉑ 同様、片側(後側)の ㉓ トレー棚板用フックを、帆立の横棧に引っ掛け(ポイント㉑) 帆立柱の横棧まで落とし、しっかりと引っ掛けます。(ポイント㉒)  
前側の帆立柱とトレー棚板の隙間に、はずしておいた ㉓ トレー棚板用フックを入れて、㉔ ボルトで帆立柱にゆるめに取り付けておきます。(ポイント㉓)

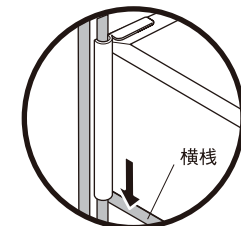
ポイント㉑

引っ掛ける



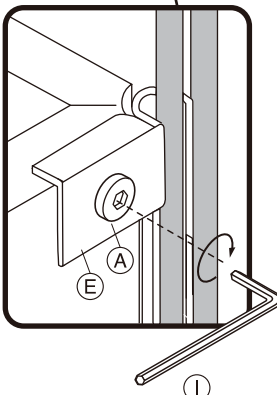
ポイント㉒

横棧まで落とし  
引っ掛ける



ポイント㉓

帆立柱と棚の間から入れて、取り付ける

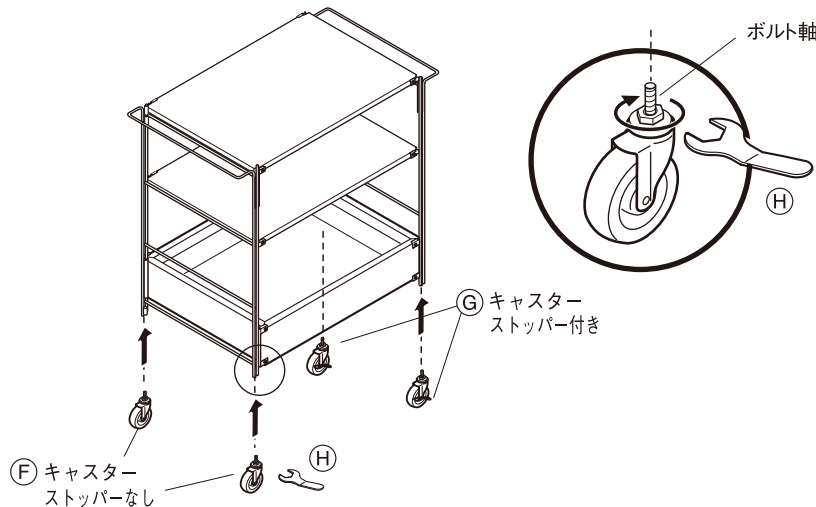


8

ゆるめに取り付けていた全てのボルトを六角レンチでしっかり締め付けます。

9

㉑ ㉒ ワゴン用帆立の底部に ㉓ ㉔ キャスターのボルト軸を差し込み、㉕ スパナで取り付けます。完成です。  
※キャスターのボルト軸と帆立の間にすき間ができないようにしてください。  
※ワゴンの移動方向を考え、短辺いづれかがストッパー付きになるようにしてください。  
※キャスターのストッパーをオフにした状態で、本体が滑らかに動くことを確認してください。

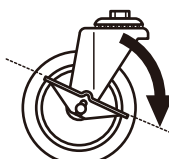
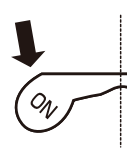
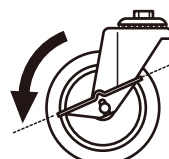


使用時のご注意(キャスター・ロックのしかた)

㉑ キャスターは、移動時以外は必ずストッパーをONにした状態でご使用ください。OFFの状態でのご使用は、思わぬケガの原因になります。

[ON] ロックをする場合に押し下げる

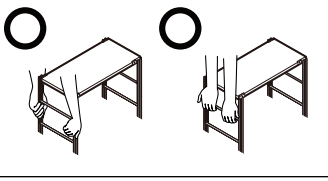
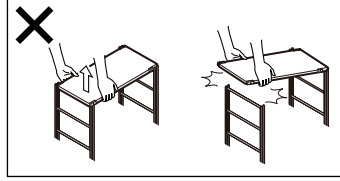
[OFF] ロックをはずす場合に押し下げる



組立上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

- 本製品で取り付け付けた棚板は可動棚です。組立後に棚板を持ち上げますと、はずれる危険性があります。棚がはずれて物が落ち、思わぬケガや器物破損の原因になる事があります。
- 組立後の移動は必ず収納物を取り除いてから2名以上で左右から帆立部分をしっかりとって慎重に移動してください。棚がはずれて物が落ち、思わぬケガや器物破損の原因になる事があります。



使用上のご注意

- 各棚の位置を変えて使用しないでください。強度が弱まり、本体が破損する原因となります。
- キャスターがロックした状態で本品をひきずらないでください。床面のキズ破損の原因になる事があります。
- 耐荷重を守ってお使いください。
- 本品に乘ったり、腰掛けたりするなど、用途以外で使用しないでください。転倒し、思わぬケガをする原因となります。
- 直射日光の当たる場所やストーブなどの熱の当たる場所では使用しないでください。キャスターの変質、変形などの原因となります。
- この商品は本紙「組立・取扱説明書」、及び別紙「取り扱い上のご注意」「設置の際のご注意」をお読みいただき、正しくご使用ください。
- 「組立・取扱説明書」及び「取扱上の注意」に記載していない使用方法、設置方法等のご不明な点につきましては、お問い合わせの販売店にお問い合わせください。